

神にはえこひいきがない

2022年8月28日

使徒の働き 10章34～48節

序：ローマ人（異邦人）コルネリウスとその家族・親族・親しい友人たち
イスラエル人使徒ペテロ

神は幻を通して、双方を整え導かれた（特にペテロの異邦人への偏見）
神の指示に従順して、訪問・面会が実現
神の働きかけ、自分の応答について、互いに証言し合う ⇒ 神の御計画だと確信
真摯な態度で傾聴する聴衆に向かって、ペテロが語り出す

I. 最初の異邦人への福音宣教

(1)神は差別や偏ったことをなさらない

ペテロ自身は、ヤッファでの幻で示されるまで、偏見・差別意識が強かった
コルネリウスへの神の導きの証によって、神にはえこひいきがないことを理解
民族、国籍、人種を問わず、神を畏れ、神の義を行う人は、受け容れられる

(2)イエス・キリストはすべての人の主

2章、3章、4章にあるユダヤ人への福音宣教の内容と同じ（異邦人が相手でも
神が人を偏り見ない、公平な愛の証明 = イエス・キリスト
イエス・キリストのみことばと御業（先駆者バプテスマのヨハネの予告～全土）

①イエス・キリストの公生涯

神は彼に聖霊と力を注がれた（バプテスマ時）= 任命
神の御子、メシアであるとの宣言
使命を完う（よき業、しるし、癒し、悪魔に勝利）
∴ 神がともにおられた

十字架上の贖いの死、三日目の復活 ⇒ 救い主

②イエス・キリストはさばき主

(3)使徒たちはイエス・キリストの証人（ナザレのイエス＝メシア）

①イエスがガリラヤ～ユダヤの全土（都エルサレムを含む）で行われたこと
神の国を語り、奇跡を行い、信仰へと招かれた

②イエスはユダヤ人によって、呪われた十字架刑で殺された

③神はイエスを死んで3日目によみがえらせた

④復活されたイエスが、神によって予め選ばれた弟子たちに現れた
信仰者たち（12使徒ばかりではない）

⑤イエスが復活後、弟子たちに現れた時、ともに食事をした
幻想、幽霊ではない、実際に目撃、体験 ⇒ 証言

⑥弟子たちに宣教の使命を与えた

- ①イエス・キリストはすべての人のさばき主として神が定めた方
- ②イエス・キリストを信じるすべての者に、罪の赦しが与えられる

II. 異邦人にも聖霊が降る

突然

ペテロの宣教を聴いていたすべての人に各々

異言（外国語か賜物としての異言かは不明）を語り、神を賛美

ヤッファからペテロに同行してきたユダヤ人信者の驚愕

ペテロの判断：これらの異邦人たちも、イエスをキリストと信じ受け入れた

そのしるしが、聖霊の降臨（ユダヤ人も異邦人も同じ）

信仰のしるし＝バプテスマを受けさせた

今後の信仰生活の助け、ガイダンス、フォローアップのため何日か滞在

III. 結び

(1) 神にはえこひいきがない ∴ ゆえに異邦人にも救いの望みがある

(2) 聖霊が降るのは信仰の結果（証印）

(3) この神の公平な愛によって、異邦人である私たちも信仰を恵まれ、救われた

(4) 信じた人は、御名によってバプテスマを受ける

(5) バプテスマは信仰者としての公の出発点（ゴールではない）

(6) 信仰者は生まれた後、養育が必要／養育のため神は教会（神の家族）を備えた
父なる神（完全）、母なる教会（地上では不完全）

(7) イエス・キリストの証人としての使命

① イエス・キリストはすべての人のさばき主（再臨）

② ” 信じるすべての人の救い主（万人救済ではない）

(8) この証人として生かし、用いてくださるのは聖霊

私たちの新生、聖化、栄化のすべてのご計画は神から出ている

私たちが、主に信頼して従う時、信仰によって応答するとき成就する